

# ワールド・ソブリンインカム (1年決算型) (愛称 十二単衣(1年決算型))

追加型投信／内外／債券

作成対象期間：2022年9月27日～2023年9月25日

## 交付運用報告書

第15期(決算日2023年9月25日)

### 受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。  
さて、「ワールド・ソブリンインカム(1年決算型)(愛称 十二単衣(1年決算型))」は、このたび、第15期の決算を行いました。

当ファンドは、ワールド・ソブリンインカム マザーファンドを通じて、日本を含む主要先進各国のソブリン債(国債および政府保証債等)に投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

### 第15期末(2023年9月25日)

基準価額	12,081円
純資産総額	410百万円
第15期	
騰落率	2.7%
分配金(税引前)合計	100円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、SBI岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
ホームページのファンド情報から当ファンドのファンド名称を検索することにより、運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

## SBI 岡三アセットマネジメント

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社投信営業部へ

フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

お取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

[ホームページ]

<https://www.sbiokasan-am.co.jp>

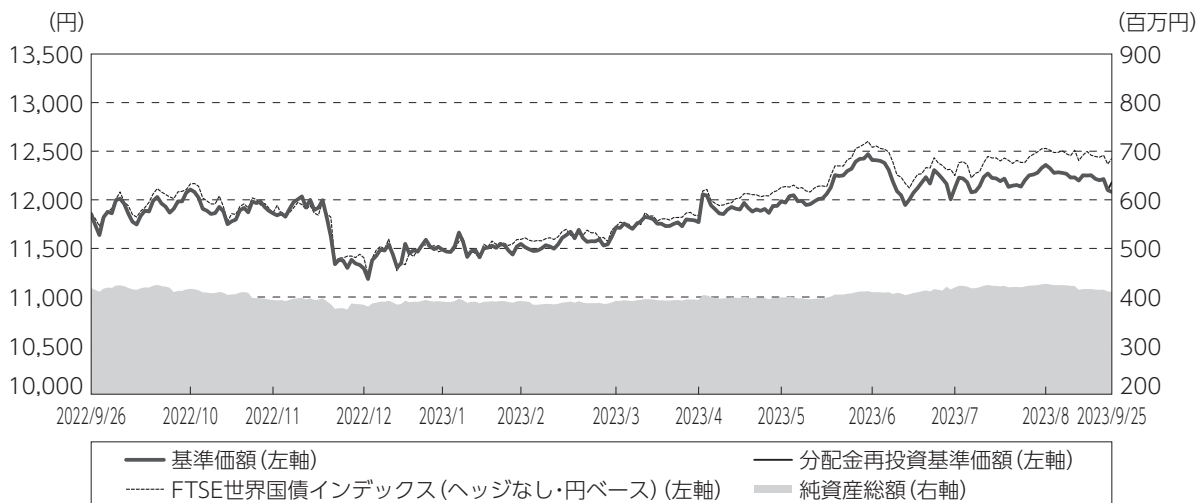
※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

※岡三アセットマネジメント株式会社は2023年7月1日をもってSBI岡三アセットマネジメント株式会社へ商号を変更いたしました。

## 運用経過

### 期中の基準価額等の推移

(2022年9月27日～2023年9月25日)



期首：11,855円

期末：12,081円 (既払分配金(税引前)：100円)

騰落率： 2.7% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)です。詳細につきましては、最終ページをご覧ください。

(注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首(2022年9月26日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

#### (主なプラス要因)

- ・投資している全ての外国通貨が対円で上昇したこと。

#### (主なマイナス要因)

- ・全ての投資国において保有債券の利回りが上昇し、価格が下落したこと。

## 1万口当たりの費用明細

(2022年9月27日～2023年9月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	137	1.152	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	( 39)	(0.329)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	( 91)	(0.768)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 7)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.017	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 1)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( そ の 他 )	( 0)	(0.001)	その他は、金銭信託支払手数料等
合 計	139	1.169	
期中の平均基準価額は、11,877円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

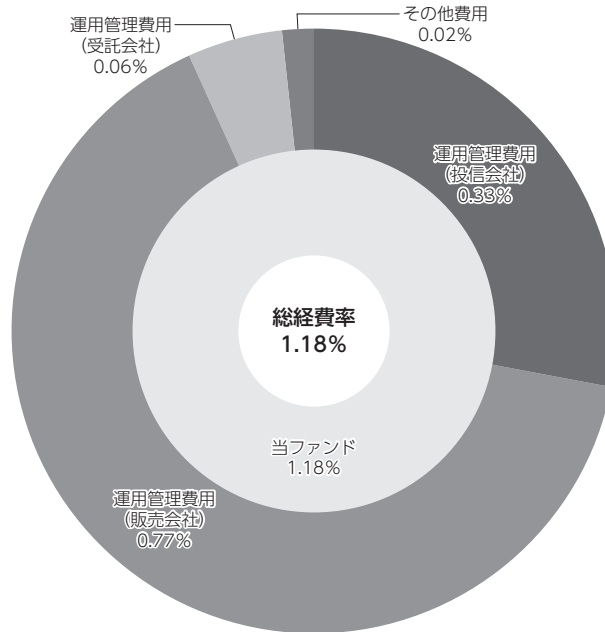
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.18%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



**投資環境**

(2022年9月27日～2023年9月25日)

**<投資国の債券市場>**

投資国の債券市場では、主要中央銀行が大幅な利上げを継続する姿勢を示したことを受けて、2022年10月下旬にかけて、利回り上昇（価格は下落）が進行しました。その後、米国のインフレ率のピークアウトに伴う利上げペースの減速や早期利上げ打ち止め観測の台頭、米国の大手地方銀行の破綻を契機とする欧米の金融システムへの懸念等を背景に、利回りが低下（価格は上昇）する場面が見られました。しかし、2023年4月以降は、欧米の金融システムへの懸念が徐々に後退したことや、海外の主要中央銀行が利上げに前向きなタカ派姿勢を鮮明にしたことを受けて、利回りの上昇基調が続きました。特に、期末にかけては、原油価格の上昇に伴うインフレ懸念、主要中央銀行による金融引き締め長期化観測等を背景に、利回り上昇が加速する展開となりました。国内債券市場では、日銀が2022年12月に長短金利操作（YCC、イールドカーブ・コントロール）の修正、2023年7月にYCCの運用柔軟化を決定したことを受けて、長期債の利回りが上昇しました。この結果、当期における投資国の10年国債利回りは、全ての投資国で上昇しました。

**<為替市場>**

為替市場では、日銀と海外の主要中央銀行との金融政策スタンスの違いが鮮明となる中、米ドルが対円で一時32年ぶりの高値となる152円近辺に急伸するなど、2022年10月下旬にかけて急速な円安が進行しました。しかし、政府・日銀が大規模な「円買い・米ドル売り」介入を実施したこと、海外金利が低下に転じたこと、日銀がYCCの修正に踏み切ったことなどを受けて、2023年1月には米ドルが対円で一時127円台に急落するなど、円高圧力が強まる展開となりました。その後は、欧米の金融システムへの懸念が円高要因となる場面も見られましたが、同懸念が徐々に後退したことや、海外金利の上昇に伴い内外金利差が拡大したことを受けて、投資通貨に対し円安基調が鮮明となりました。また、期末にかけては、原油価格の上昇が日本の貿易収支悪化につながる懸念も円売り要因となりました。この結果、当期においては、投資している全ての外国通貨が対円で上昇しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2022年9月27日～2023年9月25日)

### <ワールド・ソブリンインカム（1年決算型）（愛称 十二単衣（1年決算型））>

「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とし、同受益証券の組入比率を概ね99%台と高位で推移させました。

#### ○ワールド・ソブリンインカム マザーファンド

8カ国の主要先進国の国債に分散投資するとともに、各国の景気動向、各中央銀行の金融政策スタンス、相場動向等に留意し、金利変動リスクを測る尺度であるデュレーション<sup>\*</sup>を変化させました。デュレーションは、6.88年～8.37年の範囲内での推移となり、期末は7.68年となりました。また、6通貨に分散投資し、相場動向に対応し各通貨の投資比率を変化させることで、為替変動リスクのコントロールを図りました。当期においては、米ドル中心のポートフォリオを維持し、外貨建資産の投資比率は80.5%～95.2%の範囲内で推移させました。当期における各通貨の平均投資比率は、ベンチマークと比較して、オーストラリアドル、カナダドルが高め、米ドル、ユーロ、イギリスポンドが同程度、円が低めとなりました。一方、中国人民元、メキシコペソなどは、ベンチマークの構成通貨となっていますが、当ファンドでは投資していません。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、為替ヘッジは行いませんでした。

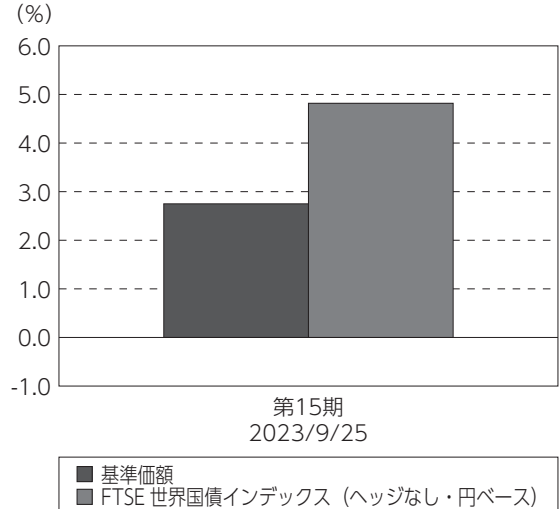
<sup>\*</sup>デュレーション：金利変動に伴う債券価格の変動性を示す指標として用いられ、一般的にこの値が大きい程、金利変動に伴う債券価格の変動リスクが大きくなります。また、対象債券のクーポンが同じであれば、残存期間が長いほどデュレーションは長くなります。デュレーションは保有債券の平均残存年数とは異なり、利付債券の場合、平均残存年数よりも短く表記されます。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2022年9月27日～2023年9月25日)

分配金も考慮した当ファンドの基準価額の騰落率は、ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）の騰落率を2.1%下回りました。債券要因では、投資国の債券利回りの上昇基調が鮮明となる中、ベンチマークと比較しデュレーションを実質的に長めで推移させたことがマイナスとなりました。為替要因では、投資通貨に対し円安が進行する中、ベンチマークと比較し外貨の投資比率を総じて高めに維持したことなどがプラスとなりました。

基準価額とベンチマークの対比（騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）です。

## 投資対象国の金利と為替

	10年国債利回り (現地終値)			為替相場		
	2022/ 9 /26	2023/ 9 /25	変化幅	2022/ 9 /26	2023/ 9 /25	変化率
アメリカ	3.68%	4.43%	0.75%	144.02	148.50	3.1%
カナダ	3.07%	3.91%	0.84%	105.80	110.19	4.1%
オーストラリア	3.91%	4.34%	0.43%	93.77	95.62	2.0%
日本	0.25%	0.74%	0.49%	—	—	—
ドイツ	2.02%	2.74%	0.72%	139.08	158.23	13.8%
フランス	2.60%	3.29%	0.69%	139.08	158.23	13.8%
イタリア	4.34%	4.59%	0.25%	139.08	158.23	13.8%
イギリス	3.83%	4.25%	0.42%	154.23	181.84	17.9%

(注) 10年国債利回りは、日本を除き当該日の現地前営業日の引値です。

(注) 為替相場は当日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値です。

## 「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」の組入資産構成比

	2022/ 9 /26	2023/ 9 /25	変化幅
アメリカ国債	43.8%	42.4%	△ 1.4%
カナダ国債	5.4%	3.2%	△ 2.2%
オーストラリア国債	6.5%	7.7%	1.2%
日本国債	2.5%	2.7%	0.2%
ユーロ	26.0%	30.9%	4.9%
ドイツ国債	8.1%	8.1%	0.0%
フランス国債	11.8%	11.5%	△ 0.3%
イタリア国債	6.1%	11.2%	5.1%
イギリス国債	6.7%	4.9%	△ 1.8%
短期金融商品・その他	9.1%	8.1%	△ 1.0%
保有債券の平均最終利回り	3.36%	4.06%	0.70%
保有債券の平均直接利回り	2.41%	3.40%	0.99%
ファンドのデュレーション	7.61年	7.68年	0.07年
ベンチマークのデュレーション	7.74年	7.30年	△0.44年

(注) 各国の保有債券の未取利息に関しては、「短期金融商品・その他」に含めて表示しております。このため、表中の国別構成比と文章中の通貨別投資比率とは正確には一致しません。

(注) 国別構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため合計と合わない場合があります。

(注) 国別構成比は、「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」の純資産総額に対する比率です。



## 分配金

(2022年9月27日～2023年9月25日)

分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当収入等の全額としております。

当期間におきましては、期末に1万口当たり100円(税引前)の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項 目	第15期
	2022年9月27日～ 2023年9月25日
当期分配金	100
(対基準価額比率)	0.821%
当期の収益	100
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,343

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### (投資環境の見通し)

海外の債券市場では、主要中央銀行による金融引き締めが最終局面に入りつつあるものの、米連邦準備制度理事会(FRB)が政策金利を長期間にわたり高めに維持する姿勢を鮮明にしていることから、当面は米国を筆頭に各投資国の債券利回りに上昇圧力が残る展開を想定しています。しかし、中国とユーロ圏の景気減速懸念が強まっていることや、景気が底堅く推移している米国においても、今後はこれまでの急速な金融引き締めが景気と物価の下押し要因として働いてくると見ていることから、徐々に利回り低下が優勢になると判断しています。また、日本では日銀によるマイナス金利解除が視野に入り始めており、長期債利回りが緩やかに上昇する展開を想定しています。

為替市場では、日本と海外の主要先進国との内外金利差が引き続き高水準であることから、相対的に金利の低い円を売り、相対的に金利の高い外国通貨を買うことで金利差の獲得を狙う、いわゆる「円キャリートレード」に支えられ、円安地合いが継続する可能性が高いと見えています。一方、円安トレンドが継続する中、投機的な円売りポジションが増加している可能性があるため、株安などを背景に投資家のリスク回避姿勢が強まる場面では、短期的に円高方向への揺り戻しの動きが強まる展開が想定されます。

### (運用方針)

#### <ワールド・ソブリンインカム(1年決算型)(愛称 十二単衣(1年決算型))>

主要投資対象である「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」の受益証券の組入比率は99%台の高位を維持する方針です。ただし、追加設定・解約の動向等によっては組入比率が高位にならない場合があります。

○ワールド・ソブリンインカム マザーファンド

世界経済の構造的な変化や国際情勢の動向、各国の景気動向や物価動向、各中央銀行の金融政策スタンス等に留意するとともに、金融市場間の資金の流れを分析することにより、国別・通貨別配分やデュレーションを決定していく方針です。これにより、ポートフォリオの為替変動リスクと金利変動リスクのコントロールを図ってまいります。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、原則として為替ヘッジは行わない方針です。

## お知らせ

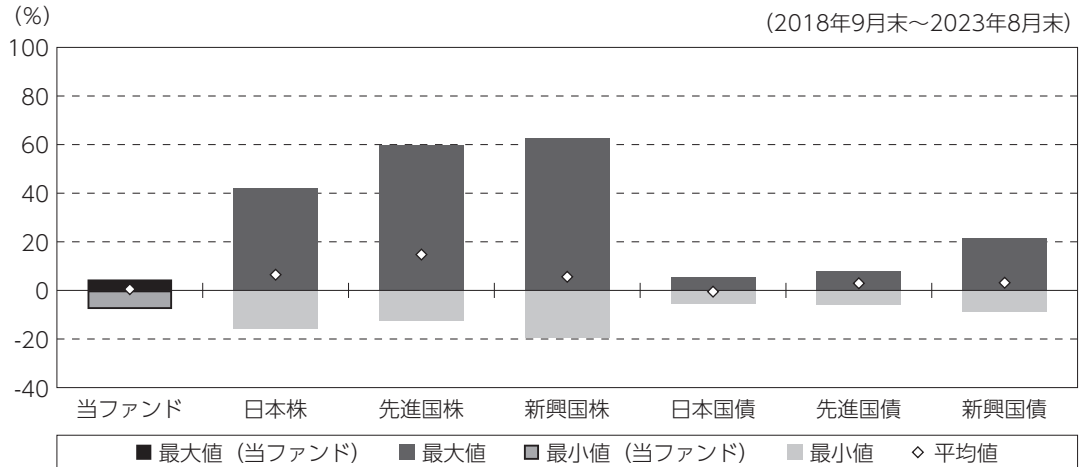
SBI岡三アセットマネジメント株式会社への商号変更等に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。(実施日：2023年7月1日)

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	2008年10月15日から、原則として無期限です。	
運用方針	ワールド・ソブリンインカム マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）を通じて、日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）に投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 原則として、外貨建資産の為替ヘッジは行いません。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	ワールド・ソブリンインカム マザーファンド	日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とするファミリーファンド方式で運用を行います。
	ワールド・ソブリンインカム マザーファンド	日本を含む主要先進国のソブリン債（国債および政府保証債等）に分散投資し、リスク分散を図ったうえで、長期的に安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
分配方針	毎年9月25日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当収入等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の利子・配当収入等には、マザーファンドの利子・配当収入等のうち、投資信託財産に帰属すべき利子・配当収入等を含むものとします。（ファンドの分配対象収益の範囲には、売買益（評価益を含みます。）を含みません。）分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案し、決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	4.5	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
最小値	△ 7.7	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	0.5	6.5	14.8	5.6	△ 0.5	2.9	3.2

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年9月から2023年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 当ファンドのデータ

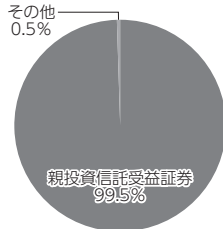
### 組入資産の内容

(2023年9月25日現在)

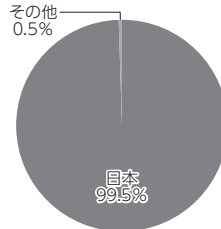
#### ○組入上位ファンド

銘 柄 名	第15期末
ワールド・ソブリンインカム マザーファンド	99.5 %
組入銘柄数	1銘柄

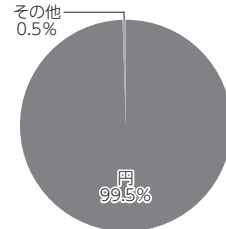
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

### 純資産等

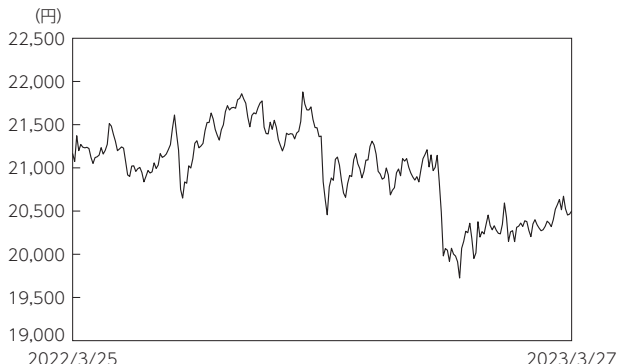
項 目	第15期末
	2023年9月25日
純資産総額	410,749,006円
受益権総口数	339,987,242口
1万口当たり基準価額	12,081円

(注) 期中における追加設定元本額は27,869,300円、同解約元本額は40,879,694円です。

## 組入上位ファンドの概要

### ワールド・ソブリンインカム マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年3月26日～2023年3月27日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) そ の 他 費 用	2	0.012
( 保 管 費 用 )	(2)	(0.011)
( そ の 他 )	(0)	(0.001)
合 計	2	0.012

期中の平均基準価額は、20,994円です。

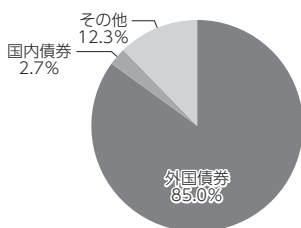
(注) 上記項目の概要につきまは、運用報告書(全体版)をご参照ください。  
 (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

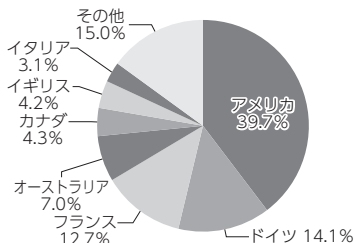
(2023年3月27日現在)

順位	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	US TREASURY N/B 3.875	国債証券	米ドル	アメリカ	7.7
2	US TREASURY N/B 2.25	国債証券	米ドル	アメリカ	6.0
3	US TREASURY N/B 6.25	国債証券	米ドル	アメリカ	5.7
4	DEUTSCHLAND REP 0	国債証券	ユーロ	ドイツ	5.7
5	US TREASURY N/B 3.5	国債証券	米ドル	アメリカ	5.4
6	US TREASURY N/B 4.125	国債証券	米ドル	アメリカ	5.1
7	FRANCE O.A.T. 2.5	国債証券	ユーロ	フランス	4.7
8	AUSTRALIAN GOVT. 1.75	国債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	4.4
9	FRANCE O.A.T. 2	国債証券	ユーロ	フランス	3.5
10	BTPS 0.85	国債証券	ユーロ	イタリア	3.1
組入銘柄数			30銘柄		

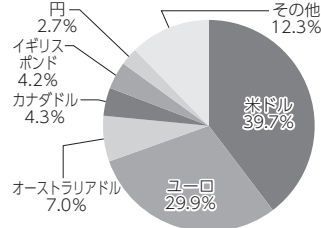
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。  
 (注) 国(地域)および国別配分につきましては発行国を表示しております。通貨別配分につきましては、組入債券の通貨別比率を表示しております。  
 (注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。  
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書(全体版)をご覧ください。

### <当ファンドのベンチマークについて>

FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

### <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

#### ○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

#### ○MSCI - KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI - KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○NOMURA - BPI 国債

NOMURA - BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA - BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

#### ○FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

#### ○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。